



## 平成27年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年9月16日

上場会社名 株式会社 銚子丸 上場取引所 東  
 コード番号 3075 URL <http://www.choushimaru.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田満  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 大和竜一 TEL 043-350-1266  
 四半期報告書提出予定日 平成26年9月29日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年5月期第1四半期の業績（平成26年5月16日～平成26年8月15日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第1四半期	4,628	0.8	251	△26.9	269	△24.3	157	△19.9
26年5月期第1四半期	4,592	3.6	344	11.5	356	15.1	196	11.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第1四半期	54.16	—
26年5月期第1四半期	67.61	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年5月期第1四半期	8,690	5,429	62.5	1,870.30
26年5月期	8,339	5,351	64.2	1,843.14

(参考) 自己資本 27年5月期第1四半期 5,429百万円 26年5月期 5,351百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	0.00	—	27.00	27.00
27年5月期	—	—	—	—	—
27年5月期（予想）	—	0.00	—	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年5月期の業績予想（平成26年5月16日～平成27年5月15日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	9,045	2.8	470	12.4	489	12.2	252	5.0	87.05
通期	18,976	3.4	1,070	△5.7	1,103	△5.3	584	△3.6	201.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年5月期1Q	2,903,600株	26年5月期	2,903,600株
27年5月期1Q	326株	26年5月期	326株
27年5月期1Q	2,903,274株	26年5月期1Q	2,903,302株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、平成26年4～6月期の国内総生産(GDP)改定値は年率換算で前期比7.1%減となるなど、消費税増税による駆け込み需要の反動に加え、夏場の天候不順が影を落とし、景気は緩やかな回復基調から減速傾向に転じております。今後、年末にかけて消費税10%への引き上げ議論が本格化するなか、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましても、円安等による原材料価格やエネルギーコストの上昇、景気回復にともなう人材不足と人件費の上昇など、引き続き厳しい経営環境となっております。

このような状況において、当社は経営理念に掲げる「私達の『真心』を提供し、お客様の『感謝と喜び』を頂くことを私達の使命と致します。」に基づいた「おいしい舞台」作りのために、「飽きの来ない旬の食材」「鮮度」「海の香り」「魚屋の精神」「番屋の雰囲気」を追求するとともに、「おいしい舞台」を完成させるために、「親切・思いやり・誠実さ」に溢れた接客・サービスを愚直に実践し、全社一丸となってお客様に愛される店舗づくりに邁進いたしました。

店舗開発につきましては、当第1四半期累計期間において、武蔵小金井店(平成26年7月)を新規に出店した結果、当第1四半期会計期間末の店舗数は84店舗となっております。

販売促進につきましては、銚子丸らしい商品の拡充と時節の食材によるイベントの継続的開催を実施し、「函館真いかフェア」等の産地直送に注力したイベント展開をするとともに、当社の主力食材である「生本まぐろ」にこだわったメニューの充実を図り、お客様の来店動機高揚に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は46億28百万円(前年同期比0.8%増)、営業利益は2億51百万円(同26.9%減)、経常利益2億69百万円(同24.3%減)、四半期純利益は1億57百万円(同19.9%減)となり、増収減益となりました。

(注)金額に消費税等は含まれておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ3億50百万円増加し、86億90百万円(前事業年度末比4.2%増)となりました。主な要因は、次のとおりであります。

流動資産は、前事業年度末に比べ3億53百万円増加し、57億92百万円(同6.5%増)となりました。主な内訳は、現金及び預金の増加2億72百万円であります。

固定資産は、前事業年度末に比べ2百万円減少し、28億98百万円(同0.1%減)となりました。これは、減価償却等による店舗設備の減少によるものです。

(負債・純資産)

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ2億71百万円増加し、32億60百万円(前事業年度末比9.1%増)となりました。主な要因は次のとおりであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ2億79百万円増加し、26億48百万円(同11.8%増)となりました。主な内訳は、買掛金の増加65百万円、未払金の増加1億79百万円及び未払法人税等の減少1億86百万円ならびに納税資金として調達した短期借入金の増加2億4百万円であります。

固定負債は、前事業年度末に比べ7百万円減少し、6億12百万円(同1.2%減)となりました。

純資産は、前事業年度末に比べ78百万円増加し、54億29百万円(同1.5%増)となりました。主な内訳は、当第1四半期累計期間の四半期純利益1億57百万円及び第37期末配当金の支払78百万円であります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、売上高189億76百万円、営業利益10億70百万円、経常利益11億3百万円、当期純利益5億84百万円を見込んでおり、現時点で変更はございません。

今後の見通しにつきましては、引き続き「すし銚子丸」業態に事業領域を集中し、東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県の一都三県に出店地域を特化して新規出店を推進してまいります。第38期(平成26年5月16日から平成27年5月15日まで)の新規出店数は、5店舗を計画しております。

但し、当社では、新規出店に際しては店舗の採算性を重視しているため、計画した店舗数に見合った出店候補地を十分に確保できない場合や、食材に係る安全性の問題、市況変動等が生じた場合には、当社の業績見通しに影響を与える可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年5月15日)	当第1四半期会計期間 (平成26年8月15日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,996,947	5,269,274
売掛金	35,830	37,306
原材料及び貯蔵品	121,911	126,844
その他	284,339	359,170
流動資産合計	5,439,027	5,792,596
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	993,404	1,010,777
その他(純額)	448,016	444,368
有形固定資産合計	1,441,420	1,455,146
無形固定資産	44,893	42,851
投資その他の資産		
その他	1,415,716	1,401,199
貸倒引当金	△1,078	△1,078
投資その他の資産合計	1,414,638	1,400,121
固定資産合計	2,900,952	2,898,119
資産合計	8,339,980	8,690,715
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	831,843	897,540
短期借入金	132,000	336,000
未払金	857,932	1,037,727
未払法人税等	307,685	121,186
賞与引当金	103,000	50,250
株主優待引当金	31,048	25,131
その他	105,112	180,203
流動負債合計	2,368,622	2,648,040
固定負債		
資産除去債務	177,129	179,442
その他	443,079	433,236
固定負債合計	620,209	612,679
負債合計	2,988,832	3,260,719

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年5月15日)	当第1四半期会計期間 (平成26年8月15日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	315,950	315,950
資本剰余金	236,829	236,829
利益剰余金	4,799,165	4,878,023
自己株式	△787	△787
株主資本合計	5,351,157	5,430,016
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△9	△20
評価・換算差額等合計	△9	△20
純資産合計	5,351,147	5,429,995
負債純資産合計	8,339,980	8,690,715

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年5月16日 至平成25年8月15日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年5月16日 至平成26年8月15日)
売上高	4,592,339	4,628,155
売上原価	1,913,161	1,934,795
売上総利益	2,679,178	2,693,360
販売費及び一般管理費	2,334,911	2,441,718
営業利益	344,266	251,641
営業外収益		
受取利息	1,130	1,141
協賛金収入	11,571	14,803
その他	1,100	3,153
営業外収益合計	13,802	19,098
営業外費用		
支払利息	1,321	999
現金過不足	663	189
その他	—	45
営業外費用合計	1,985	1,234
経常利益	356,084	269,505
特別損失		
固定資産除却損	784	—
特別損失合計	784	—
税引前四半期純利益	355,299	269,505
法人税等	158,996	112,258
四半期純利益	196,303	157,246

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。